

平成 24 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 フューチャーアーキテクト株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
(コード番号 4722 東証第一部)
問合せ先 執行役員 中島 由彦
(TEL (03) 5740 - 5724)

平成 24 年 12 月期第 1 四半期連結業績のお知らせ

1. 平成 24 年 12 月期第 1 四半期連結業績について：

当社グループの平成24年12月期第1四半期（平成24年1月1日～平成24年3月31日）の**連結売上高は5,274百万円**（前年同期比10.9%減）、**同営業利益は230百万円**（同74.2%減）、**同経常利益は287百万円**（同68.7%減）、**同四半期純利益は199百万円**（同66.3%減）となりました。

各事業分野の特記事項は次の通りです。なお、文中のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

I Tコンサルティング事業は、大規模プロジェクトの一つが一段落し、積極的なプロモーション活動を展開しました。その結果、複数の新規顧客からの受注を獲得し、プロジェクトが新たにスタートいたしました。これらが売上に大きく貢献するのは下半期以降の見込みであることから、売上高は3,223百万円（前年同期比12.6%減）となりました。また、一部のプロジェクトの遅延や前年同期には計上がなかったBCP対応コスト、金融クラウドへの投資、及び海外進出費用の増加等により、営業利益は266百万円（前年同期比66.9%減）となりました。

パッケージ&サービス事業は、株式会社アセンディアにおいては、引き続き堅調に推移いたしました。一方、Future One株式会社においては、昨年からの営業体制の強化が実を結び、前連結会計年度末と比べて受注残は順調に増加いたしました。一部の案件について見込みより開発工数が増加した影響で他の案件の開始時期を遅らせたこと等により、売上高は976百万円（前年同期比14.6%減）、営業損失は32百万円（前年同期は65百万円の利益）となりました。

企業活性化事業は、食品スーパーを営む株式会社魚栄商店において、自動発注システムやE D I システムなどのI Tの導入により、粗利率は安定してまいりました。その結果、売上高は1,152 百万円（前年同期比 0.9%減）、営業利益は 16 百万円（前年同期比 6.6%増）となり、営業黒字を継続しております。

2. 今後の見通しについて：

I Tコンサルティング事業は、顧客との信頼関係の維持向上に努めることで追加プロジェクトを確実に実施していくとともに、提案活動を行っている見込顧客から確実に受注を獲得してまいります。同時に金融クラウドや、付加価値の高い運用保守サービス（VAO）、エンタープライズ（大企業）向けのE R Pといった新規サービスの拡大も図ってまいります。

また、東南アジアにおいては、順調に受注を獲得しておりますが、今後は更に成長を加速させてまいります。

パッケージ&サービス事業は、F u t u r e O n e 株式会社においては、引き続き受注の拡大を図るとともに、既存製品のバージョンアップによる競争力の向上や、一層のデリバリー品質の向上に努めてまいります。また、株式会社アセンディアにおいては、得意とする運用保守サービスやシステム受託開発に加え、公共ビジネスの拡大やニアショアビジネス（国内の地方拠点での開発等）の強化を進めてまいります。

企業活性化事業は、株式会社魚栄商店において、I Tの利活用により、引き続き商品在庫や廃棄品の一層の圧縮をすすめるとともに、検品・棚卸などの業務の効率化や顧客行動の分析の強化等を図るほか、既存店舗の小規模改装や非店舗営業の拡大により売上の拡大を図ってまいります。

なお、平成24年12月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、前回発表（平成24年2月7日付）からの変更はございません。

以 上

●本件に関するお問い合わせ先：

フューチャーアーキテクト株式会社 IR 担当 池内

IR 直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：ir@future.co.jp